

ほっけもん

350 聞っまげ



大崎短歌会

兼題『夕立ち・自由』

夕立の過ぎし後には西の空

七色の虹希望をてらす

梅雨も過ぎ天気晴朗夏の空

夕立雲か雷光る

ガキの頃夕立に「ビショ」濡れになり

カミナリも鳴り臍をかくしたる

うたた寝の浅き眠りの夢にさえ

夕立に追われて乾草束ねり

草いきれ雲もくもくとにわか雨

希望の光七色彩橋に

仮の世や「加賀光悦」に見えたり

頭低くして声々聞かむ

稲の花咲くしばらくを雨風よ

穏しくあれとひたに祈りぬ

栢山重子

実吉安仁

川崎健一

本後淑子

井元かず子

上南紀子

穂園芳江

出穂せし稲田の上の夕立ち雲

草刈る農夫空を仰ぎぬ

蓑かけてちよいとすげ傘傾ぐ人

夕立ち急かす田仕事ありぬ

薩摩郷句

兼題『上手』

山下海征

馬場みさ

股を抜つ 上手なシュートい 国が沸つ

(唱) 隙間を狙ろつ こいがサッカー

井上三ちゃん

上手言どん 俺いな解らん 絵画展

(唱) 俺いが描た方が 上手じゃろごちゃつ

北村虎王

褒め上手の 先生の魔法い ひつかかつ

(唱) ますます頑張る 可愛せ二年坊主

西ノ園ひらり

子分限者 西瓜を上手じ十個切分けつ

(唱) 喧嘩せんごつ 平等い十個

上村牛歩

腰しゅば振つ 上手いじゃ言たや まだ踊つ

(唱) 煽てじゃつとも 気付かんとじゃろ

満石うらら

あいがとち 感謝感謝で 上手じ暮れつ

(唱) 可愛か爺さんち 周囲が丁寧しつ

二見愚楽満

済んもはん 立つちよい親を 上手じ使つ

(唱) 義母も気分良 はい次がないな

諸木小春

上手思もつ 歌とが聞つ手あ 耳む塞つ

(唱) 早よ止めんかち 誰もえ言わじ

遠矢耐多

上手じゃつち 友達の煽てで やれ踊つ

(唱) 汗じよつぶいで 気分良踊つ

長重リリー

上手じパンツ 履けたち喜つ 孫ん笑顔

(唱) 婆見てほら 一人で履けたよ

佐藤ぼつけちゃん

亭主しゅ褒めつ 仕事つさせちよい 扱け上手

(唱) 本当ち上手じゃち 良か気いさせつ

上窪小絵

グランドで 上手な衆と組ん 表彰台

(唱) 強い相手とな 励いも違つ

藤元鬼瓦